

平成 24 年第 4 回庄原市議会定例会

一般質問通告者
及 び
質 問 事 項

9月19日～9月21日

質問順位

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 名 越 峯 壽 | 2. 横 路 政 之 |
| 3. 八 谷 文 策 | 4. 西 村 和 正 |
| 5. 岡 村 信 吉 | 6. 小 谷 鶴 義 |
| 7. 林 高 正 | 8. 谷 口 隆 明 |
| 9. 福 山 権 二 | 10. 垣 内 秀 孝 |
| 11. 赤 木 忠 徳 | 12. 宇江田 豊 彦 |
| 13. 坂 本 義 明 | 14. 藤 山 明 春 |

庄 原 市 議 会

平成24年9月定例会 一般質問

順位	質問議員	質 問 項 目	ページ
1	名越峯壽	交通弱者対策について	1
		県道下千鳥小奴可停車場線の改良について	2
		西城市民病院 4 階の利活用について	2
2	横路政之	通学路の安全対策について	3
		いじめ対策について	4
		高齢者の見守りにについて	5
3	八谷文策	ジュオン問題について	6
		「比婆山連峰の夢」について	6
4	西村和正	防災行政無線の整備と情報伝達について	7
		消防団の体制強化と消防設備の充実について	8
5	岡村信吉	米の価格について	9
		高野観光交流ターミナル（道の駅）について	10
6	小谷鶴義	グリーンケミカル(株)に譲渡した土地及び工場・機械設備への担保設定について	11
		この状態で木質バイオマス利活用事業の新しいスポンサーへの継続が可能なのか	11
		学校教育に取り組む市長の姿勢はいかに	12
		(株)庄原市農林振興公社の業務は J A 委託がよいのではないのか	12
7	林 高正	ジュオン問題が解決できない問題点は何で、解決の目途はいかに	13
		(株)庄原市農林振興公社の経営について	14
		東城の街の中を流れている川の名称が「成羽川」となっていることはいかに	15

順位	質問議員	質 問 項 目	ページ
8	谷口隆明	国民健康保険問題など医療問題について	16
		バイオマス利活用問題について	17
		自然エネルギー先進地をめざして	18
9	福山権二	本村地域の塩害について	19
		ジュオン問題について	19
		庄原市総合サービス㈱について	20
10	垣内秀孝	主要地方道西城比和線の改良促進について	21
		庄原市立比和自然科学博物館の拡充について	22
11	赤木忠徳	本当に人口を増やすことに目標を定めているのか	24
		西城市民病院の現状と未来展望について	25
		地域にマッチした夢を、アイデアを	26
12	宇江田豊彦	障害者の雇用促進について	27
		本市県立高校存続の取り組みについて	28
		“げんき”と“やすらぎ”のさとやま文化都市について	29
13	坂本義明	市税の収納について	30
14	藤山明春	空き家対策について	31
		太陽光発電について	31

日程

9月 19日（水）名越峯壽・横路政之・八谷文策・西村和正・岡村信吉

9月 20日（木）小谷鶴義・林高正・谷口隆明・福山権二・垣内秀孝

9月 21日（金）赤木忠徳・宇江田豊彦・坂本義明・藤山明春

順位	1	質問者	名越峯壽	
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨			答弁を 求める者
1. 交通弱者対策 について	合併して、7年6カ月が経過したが、依然として旧町を中心とした公共交通体系であり、特に西城・東城地域はその傾向が強い。 小奴可地区から庄原地域（庄原赤十字病院）に行くためには、早朝6時のJRか小奴可から東城を経由するバスを利用しなければならない。また、西城町三坂地区から東城町小奴可地区への公共交通機関はない。さらには、現在、三坂から西城市街へ30分で行けるところを約1時間要しており、交通弱者対策を考えるべきである。 このため、次のとおり対応すべきと思うが、考えを伺う。 ①小奴可～三坂～西城市街間を新設し、特に庄原行きの備北交通バスに接続すること。 ②西城市民病院利用者等の西城～小奴可間の利便性を図るため、回送バスへの乗車を可能にすること。			市 長

順位	1	質問者	名越峯壽
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨		答弁を 求める者
2. 県道下千鳥小 奴可停車場線 の改良につい て	この路線は一部改良済みであるが、依然として登下校時の小学校児童・保育所児童たちの交通事故が懸念され、お年寄りの電動カー等の離合も困難な状況にある。 一番の難所である、小奴可小学校と国道314号の間が未改良であるが、その改良計画及び市としての対応はどのようなになっているのか伺う。		市 長
3. 西城市民病院 4 階の利活用 について	平成20年度から、4階の使用がされていない。庄原市立西城市民病院として、早急に有効な利活用を実現すべきである。 利活用実現に向けての進捗状況を伺う。		病院事業 管理者

順位	2	質問者	横路政之	
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨			答弁を 求める者
1. 通学路の安全 対策について	本年4月23日、京都府亀岡市で、軽自動車 が集団登校中の児童と保護者の列に突っ込み 3人が死亡、7人が重軽傷という痛ましい事 故が発生し、その後も各地で同様の事故が立 て続けに発生した。 これを受け、文部科学省、国土交通省及び 警察庁から全国に通知が発せられ、すべての 公立小中学校で緊急合同総点検が実施されて いる。 (1) 本市においても緊急合同総点検が実施 されたと思うが、まず、この結果を伺う。 (2) この結果を「点検のための点検」に終 わらせないために、「目に見える」諸対策の 迅速かつ効果的な施策を実施すべきと思う が、考えを伺う。 (3) 本来、通学路の安全点検は、継続的に 行われていなければならないものである。 今後、どういう形で継続していく考えなの か伺う。 (4) 継続的な通学路を含めた児童・生徒の 安全対策の推進を目的として、条例等を策 定してはどうかと思うが、考えを伺う。			教育長

順位	2	質問者	横路政之	
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨			答弁を 求める者
2. いじめ対策について	昨年 10 月、滋賀県大津市でいじめを受けた中学 2 年の生徒が自殺した問題をきっかけに、「いじめ」は大きな社会問題として関心が高まっている。本市においても他の自治体の問題として傍観することはできないと思う。 (1) 本市の小中学校における「いじめ」の実態はどうか伺う。 (2) 「いじめ」根絶の決定的な方法は非常に難しい課題であるが、「いじめ」は基本的人権を侵害する（重い罪）という考え方を共有することが大事であると思う。そのためには、しっかりとした人権教育を行う必要があると考える。 しかし、教員だけで勉強から道徳、生活習慣まですべてを教えるのは無理がある。人権擁護委員の力を活用するなど新たな方法も加え、「いじめは、いじめる側が 100% 悪い」という意識に子どもたちを変えていく必要があると思うが、考えを伺う。 (3) 政府は、いじめ対策強化を含む、新たな「自殺総合対策大綱」を決定した。本市としての対応を伺う。			教育長

順位	2	質問者	横路政之
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨		答 弁 を 求める者
3. 高齢者の見守りについて	東日本大震災以降、自主防災組織への取り組みが進む中、地域における見守りに対しても再度考え直し、よりきめ細やかな対策を模索されている地域もある。 現在、一人暮らし世帯に不測の事態が発生した場合、緊急に対応できる方策として、安心カードの作成など、さまざまな対応がなされている。バラバラな対応策をとるのではなく、統一した有効な対策があれば、市民の見守りに対して効果的な成果が得られると思う。 このため、具体的な取り組みとして、昨年3月に「命のカプセル」を提案させてもらったが、再考する考えはないか伺う。		市 長

順位	3	質問者	八谷文策	
項 目		質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨		答弁を 求める者
1. ジュオン問題 について		市長の今までの説明は、補助金返還額をより少なくすること、この事業を継続すること、さらには、事業継承者により返還金をゼロにするよう努力しているとのことであったが、先日、中国四国農政局で課長、係長クラスの職員と話をした結果、まずそのようなことはあり得ないとの答えであった。このことに対する市長の見解を伺う。		市 長
2. 「比婆山連峰 の夢」について		古事記編纂 ^{さん} 1300 年の今年、本市においてどのような事業が行われ、私たち庄原の天孫降臨の地である比婆山連峰が、夢とロマンの地として語り継がれるにふさわしい計画があるのか。また、出雲地方ではどのようなことが行われ、さらに計画されているのか伺う。		市 長

順位	4	質問者	西村和正	
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨			答弁を 求める者
1. 防災行政無線 の整備と情報 伝達について	長期総合計画実施計画において、平成26年度から防災行政無線施設の整備に着手することとなっているが、その基本的な考え方について、次のとおり伺う。			市 長
	(1) 市内全域に整備する必要があるが、事業費と事業期間、さらに地域別の整備年次をどのように計画しようとしているのか伺う。			
	(2) 防災行政無線には、同報系と移動系があると聞いているが、システムの整備内容について伺う。			
	(3) 戸別の告知放送のような情報通信手段が必要ではないか。また、受信設備は、屋外の拡声器なのか、各戸へ個別受信機を設置するのか伺う。			
	(4) 西城地域及び東城地域において、現在のNTTの通信サービスであるオフトーク通信が、平成26年頃に終了するのではないかと聞いている。この2つの地域の整備をどのように考えているのか伺う。			
	(5) 防災行政無線の機能は、防災情報に特化したものではなく、現在も行われている行政情報等の提供など、市民の暮らしを高めるよう充実を図るべきと考えるが、どのような機能を持たせ整備するのか伺う。			

順位	4	質問者	西村和正	
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨			答弁を 求める者
2. 消防団の体制 強化と消防設 備の充実につ いて	消防団の組織体制及び消防装備の整備について伺う。 (1) 消防団員の充足率が 89%という現状に照らし、組織の再編計画を考える中で、定員の見直しや人員確保を図るなどの説明を受けているが、その後の進捗状況について伺う。 (2) 迅速な初動の確保と火災現場における消防力の強化を図るためにも、消防ポンプ車、小型消防ポンプ積載車、指揮広報車などの消防装備及び車両の整備が喫緊の課題である。各方面隊の整備状況について伺う。 (3) 総合的な消防力の強化を進めるためにも、こうした消防装備及び車両の整備水準を高める必要がある。早急に総合的な消防力の強化をめざした計画を策定し、実行することが重要だが、今後、基本的な危機管理として、どのように対策を講じるのか。 (4) 自主防災組織など自治振興区を中心に、市民が主体となって、防災活動に取り組む方向性は理解できるが、消防防災に関する基盤施設である、各方面隊の消防格納庫等の公共性の高い施設整備は、行政の責務として行うべきではないかと思うが、考えを伺う。			市 長

順位	5	質問者	岡村信吉
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨		答弁を 求める者
1. 米の価格について	本年産の米仮渡価格が決定された。県内産コシヒカリ一等米価格が、前年度より 700 円高い、1 袋 30 キログラム当たり 7,000 円である。市内約 5,500 戸の米生産農家にとって、いくらか明るいニュースである。 しかしながら、近年、米を含む農産物価格の低迷と生産コストの上昇という生産現場における経済的問題、さらには、担い手不足等の構造的問題など、農業を取り巻く環境は一段と厳しくなっている。 こうした中で、米価の動向は、市内全農家にかかわる問題と捉え、次のとおり伺う。 (1) 農業は、本市の基幹産業との位置づけであるが、その中心を担う米、とりわけ米価問題については、これまで深く議論された経緯がない。この点について所見を伺う。 (2) 本年 3 月、新たに庄原市農業振興計画が策定された。大要として、米による所得アップをめざすとあるが、それ以上の記述はないと受け止めている。農業者の大半が米の生産農家である現状を考慮すると、余りにも内容が薄いと感じるが、所見を伺う。 (3) 平成 18 年に設置された「庄原市農業振興対策調整会議」における、米による所得アップへの取り組みの現状について伺う。		市 長

順位	5	質問者	岡村信吉	
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨			答弁を 求める者
2. 高野観光交流 ターミナル（道の 駅）について	中国横断自動車道尾道松江線が整備されており、来年3月には、三次JCT・吉田掛合IC区間が供用開始の予定である。 本市としては、これに合わせ、平成21年度から24年度までの4年間をかけ、総工費約10億円を要する高野観光交流ターミナル（道の駅）の整備に取り組んでいるところである。 この工事の進捗状況や供用開始以後の管理・運営に関し、次のとおり伺う。 （1）高野観光交流ターミナルの建設等ハード事業及び管理運営に係るソフト面整備について、進捗状況を改めて伺う。 （2）高野観光交流ターミナルの整備、稼働によって、この施設が果たすべき、本市の観光振興、農業振興の突破口としての期待度について伺う。 （3）管理・運営に関する検討組織として「道の駅管理運営協議会」が立ち上げられている。この組織内容及び機能について改めて伺う。 （4）管理・運営の具体策として、未来創造事業を取り入れ、基礎づくりをされているが、資料を見る限りでは、高野地域に限定されている感じがする。この点について伺う。			市 長

順位	6	質問者	小谷鶴義
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨		答弁を 求める者
1. グリーンケミカル(株)に譲渡した土地及び工場・機械設備への担保設定について	工業団地売却後の企業が、土地・建物・機械設備等を銀行の担保に入れることは禁止されていると思うが、市は許可をしている。その理由は何か。 法務局で調査したところ、3億円の根抵当権が設定されている。さらに、平成22年12月16日に2番抵当権追加担保で、トータル3億5千万円の根抵当権が設定されていると判断している。		市 長
2. この状態で木質バイオマス利活用事業の新しいスポンサーへの継続が可能なのか	6月議会では、この担保によって銀行から借入れしているのかと質問したところ、法人情報であり情報保護の観点から公にすることは適当でないとの答弁であった。今も考えは同じか。(株)コスモエースの所有する建物は、財務省に差し押さえられている。この状態から抜け出す方法はあるのか。		市 長

順位	6	質問者	小谷鶴義	
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨			答弁を 求める者
3. 学校教育に取り組む市長の姿勢はいかに	教育民生常任委員会で大分県豊後高田市を視察した。さすが教育のまちではあると感心した。そこには市長の教育に取り組む姿勢が、大きく左右していると感じた。市長も全国取り組み等、私以上の情報があると思うが、市長として本市教育への姿勢を伺う。			市 長
4. (株)庄原市農林振興公社の業務はＪＡ委託がよいのではないか	農林振興公社の存続は、ＪＡとの協議が今後のカギを握ると思うが、ＪＡとの協議の中では話題にならないのか。三次市の例では、ＪＡを中心に展開している。			市 長

順位	7	質問者	林 高正	
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨			答弁を 求める者
1. ジュオン問題 が解決できな い問題点は何 で、解決の目途 はいかに	8月10日、岡山市にある中国四国農政局を有志議員4名で訪問し、担当課の課長以下4名と忌憚のない意見交換をさせていただきました。 これまで何度も、繰り返し説明されてきた農政局とのジュオン問題解決に関する協議の件であるが、意見交換から受けた印象では、本当に真剣な協議を行ってきたのか甚だ疑問に思えてきた。事業継承ということを、事あるごとに市長は発言されるが、農政局には一切関係ないことで、まずは不正をクリアにすることが先決であるとのことであった。 今回の決算審査において、グリーンケミカル(株)の事業計画変更に伴う補助金返還未納額に対する動産仮差押一件で、予納金 230 万円を予備費から2月に支出していたことを発表した事実等に鑑み、まだまだ隠している事実があるように思えてならない。 市長は、「一定の道筋をつけた段階では、そういう決断をする」と言い続けておられるが、市長任期の来年3月末までに解決できるのだろうか。 誠意ある答弁を期待する。			市 長

順位	7	質問者	林 高正	
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨			答弁を 求める者
2. (株)庄原市農林 振興公社の経 営について	過去、何度もこの件で質問しているが、「何とかする」というか、「何とかなる」という感じの誠意のない答弁ばかりされてきた。 農林振興公社の最大の課題は、庄原産直市「八木店」を継続するか否かだろうと私は思う。細かい数字は言わないが、高額な土地代を市が肩代わりし、委託費で運営し、本当は大赤字という実態から目をそむけているのではないか。それらは全て血税で補填されているものである。 過去には、「このような状態が続くようであれば、存廃を含めて検討する」という答弁がなされているが、考えを伺う。			市 長

順位	7	質問者	林 高正	
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨			答弁を 求める者
3. 東城の街の中を流れている川の名称が「成羽川」となっていることはいかに	私は友人の指摘を受けるまで、東城のまちの中を流れている川は東城川であると思っていたが、国土地理院の地図には成羽川という表記となっている。大昔から正式名称は成羽川であるが、俗称として東城川と呼んでいたという文献でもあれば納得できるが、ことはその逆で、ある時から東城川が成羽川になってしまったという事実が判明した。 広島県河川課の言うことが正しいとすれば、国からの意見照会に対し、一体誰がどういう立場で同意したのか。あるいは、県は地元に対し意見照会したのか。照会したのであれば、誰がどういう立場で同意したのか。その事実はあるのか。 町民の総意としてそれに同意したという経緯はあるのかどうか。東城町民としては看過できないことだと思うが、市長の考えを伺う。			市 長

順位	8	質問者	谷口隆明	
項 目		質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨		答弁を 求める者
1. 国民健康保険 問題など医療 問題について		(1) 国民健康保険の広域化に関する広島県 での協議状況及び本市の取り組み方針や予 測される本市への影響について伺う。		市 長
		(2) 9月5日、日本医師会は、病院での窓 口負担が高いほど、受診を控え病状が悪化 するなどのアンケート調査結果を発表し た。本市でも受診を控える患者とそうでな い患者の格差が広がっているのではない か。このような状況の中で、実態をよく調 査し、患者の一部負担割合の引き上げにつ ながる動きには断固反対すべきだと思える が、市長の見解を伺う。		
		(3) 消費税引き上げが実施された場合、西 城市民病院など医療機関や介護施設の経営 への影響が大きいと考えられる。実施させ ないのが一番だが、実施された場合の影響 を伺う。		

順位	8	質問者	谷口隆明	
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨			答弁を 求める者
2. バイオマス利 活用問題につ いて	(1) 本市の木質バイオマス利活用事業は、 その理念も含め出発点から間違っていたと 言わざるを得ない。政策を立案し、事業執 行した「計画主体」としての責任は明確だ と考えるが、改めて市長の見解を伺う。			市 長
	(2) 規制規範たる「補助金適正化法」の基 本的精神から見れば、少なくとも補助金不 正受給がわかった時点で、ただちに事業中 止命令と補助金返還命令を出すなど、機敏 な対応が必要だったのではないか。			
	(3) いまだに事業継承と言っているが、こ れも「補助金適正化法」や常識を超えた判 断だと思う。こんな対応をしていれば、長 い目で見ると、庄原市の信用は失われてし まうのではないかと心配するがいかに。			
	(4) 「バイオマス利用ありき」の失敗を教訓 にして、先進地に学び、もっと地についた 林業政策・「庄原市林業振興計画」の策定が 求められるのではないか。			

順位	8	質問者	谷口隆明	
項 目		質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨		答弁を 求める者
3. 自然エネルギー先進地をめざして		次の点について、市長の見解を伺う。		市 長
		(1) 島根原子力発電所を含め、すべての原子力発電所の再稼働に反対すること。		
		(2) 地域振興、雇用創出、魅力ある地域づくりなどの観点から、小水力・太陽光・風力・バイオマスなど広大な本市の条件を生かした自然エネルギーの活用を、民間活力の導入も含めて本格的に促進し、エネルギー自給率を高めること。		

順位	9	質問者	福山権二
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨	答 弁 を 求める者	
1. 本村地域の塩害について	中国縦貫自動車道から排出される冬季道路凍結防止剤による環境破壊とその対策について、次の点を伺う。 (1) 発生している環境破壊の現状について伺う。 (2) 被害を受けている市民に対する救済は、どのように実施されているのか伺う。 (3) 市内を通過する中国縦貫自動車道から、同種の被害が本村地域以外で発生していることはないのか、現在把握している状況と判断について伺う。	市 長	
2. ジュオン問題について	木質バイオマス事業について、次の点を伺う。 (1) 市長は、この事業を継続するとの方針であるが、現時点での具体的な継続方針について伺う。 (2) 市長は、(株)ジュオン経営者を庄原警察署に刑事告訴して以来、担当部署と第三者委員会において、関連する事務作業の経過全体を再確認、あるいは調査中であるが、担当部署と第三者委員会における調査の現状について伺う。 (3) それぞれの調査について、中間報告をすべきだ考えるが、いまだになされていない。市長の見解を伺う。	市 長	

順位	9	質問者	福山権二	
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨			答弁を 求める者
3. 庄原市総合サービス(株)について	庄原市総合サービス(株)の株主は市長だけであり、この株式会社の取締役 11 名のうち 6 名は本市の幹部職員である。このことを踏まえ、この会社に関して次の点を伺う。 (1) この会社の株主総会は、どのように開催されているのか。議案提案者、議案審議者、総会の意思決定は、どのように行われているのか。 (2) この会社は、本市行政が創業したものであり、この会社の経営資金は市財政で賄われている。このことから、この会社の株主総会の議事録は市民に対する情報公開の対象事項とすべきだと考えるが、市長の見解を伺う。			市 長

順位	10	質問者	垣内秀孝	
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨			答弁を 求める者
1. 主要地方道西城比和線の改良促進について	合併後8年を経過しようとしている。新市建設計画は、市民総意のまちづくりの基本となる柱である。地域整備の方針では、広大な面積を結ぶ交通ネットワークの整備で、地域の一体性と、市民の便利なまちづくりを図っている。過疎化等の課題の中で、整備の推進や取り組みについて、市長の見解を伺う。 (1) 主要地方道西城比和線は、合併支援道路と位置づけられて、改良促進されているが、これら、合併支援道路は、他に県道では何路線であり、改良事業はどのようなになっているのか伺う。 (2) 本路線は、比和バイパス及び橋梁新設で「まちなか」は整備済みとなり、比和・西城境の坊地付近約4キロメートルが未改良であるが、今後、県等への働きかけをどうされるのか伺う。			市 長

順位	10	質問者	垣内秀孝	
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者
2. 庄原市立比和 自然科学博物 館の拡充につ いて	(1) 本市には、生涯学習施設として、博物館・資料館が各地域に存在するが、とりわけ、博物館法に基づく施設とみなされる庄原市立比和自然科学博物館について、学校教育、生涯学習において、どのように活用されるのか考えを伺う。			教育長
	(2) 「日本一小さく、日本一大きい」と自負する当該博物館は、30 万点以上の標本類や文献等を所蔵している。これらの資料のデータベース化等の整備がなされているとのことだが、その進捗状況と今後の活用について伺う。			
	(3) 貴重な所蔵品群である博物館資料については、公開する場、つまり特別展等において計画的、効果的に発表されることが重要であると考え。科学性に基づいた計画性のある公開の場が必要と考えるが、見解を伺う。			
	(4) 本市に寄贈された貴重なショウバラクジラの化石や、世界で収集された化石・鉱物を展示する、庄原市立比和自然科学博物館・地学分館が、去る7月21日比和支所2階にオープンし好評を博し、既に昨年度の入場者数を上回る来館があったと聞き及ん			

順位	10	質問者	垣内秀孝	
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨			答弁を 求める者
2. 庄原市立比和 自然科学博物 館の拡充につ いて	でいる。施設本来の効果をあげるためのインストラクターの育成や研修実施の考えはないか。更に学習意欲を促し、リピーターを増やすためのサービス提供の方策について考えを伺う。			教育長
	(5) 博物館への情報では、現在、鳥取大学医学部が所蔵する、クジラの全身骨格標本を当博物館へ寄贈したいとの申し出があるとのことだ。本博物館を更に発展させるためにも、受け入れるべきと考えるが、見解を伺う。			
	(6) 地学分館への展示物移動による、本館第2展示室の跡を有効活用するための、リニューアルについて考えを伺う。			

順位	1 1	質問者	赤木忠徳	
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨			答弁を 求める者
1. 本当に人口を増やすことに目標を定めているのか	6月議会の一般質問で、「日本一住みやすい、住みたい庄原市になるために」と題して質問したが、いまひとつ、定住増加に対する本市の目標が見えてこなかった。 福井県鯖江^{さばえ}市では、3世代世帯の増加を奨励し、共働きであっても子育てがしやすい環境、高齢者にとっても孫の面倒をみるのが、やりがい・生きがいとなり、刺激のある生活を送ることで介護予防にもつながっている。このことにより、福井県内で自然増加率、出生率1位、死亡率15位を達成している。 これまでの一般質問で、合併時4万4千人の人口が4万人を割る寸前時も、県立大学の職員、学生の住民登録促進を促したが、その後の取り組みについて伺う。 (1) どのようなキャンペーンを行って、どのような効果があったのか。また、Iターン、Uターン、団塊の世代に対しての帰庄（故郷に帰ること）に対しても、その後の新たな施策、効果は。 (2) 定住関係は、商工観光課から自治振興課に移されたが、その理由は。また、単に1課のみの対応でなく、複数の課による連携が有効ではないのか。			市 長

順位	1 1	質問者	赤木忠徳	
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨			答弁を 求める者
2. 西城市民病院 の現状と未来 展望について	合併時、執行者、議員、市民に西城市民病院の赤字について、多くの非難を受けたが、赤字の大きな原因は、固定資産償却費にあったこと、赤字は新たな資金借入でないことを理解され、地方病院のあり方について、多くの熱い議論がなされた。 その後、2次救急医療機関としての重要性に鑑み、地域医療機関である三次中央病院及び庄原赤十字病院の絶大なる協力を得て、庄原市・西城市民病院職員が一丸となって病院再建に取り組まれたことは明らかである。 そこで、これまでに取り組まれた施策、改革、整備についてと、これからの展望について伺う。			病院事業 管理者

順位	1 1	質問者	赤木忠徳	
項 目		質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨		答弁を 求める者
3. 地域にマッチした夢を、アイデアを		先日、京都の鞍馬寺くらまの近くにある、貴船川での、貴船の川床に行ってきた。貴船神社に向かう道路は、離合も出来ない3メートル余りの狭い道であったが、なぜ、こんなに多くの人が清涼を求めて来ているのか、不思議であった。いざ、店（川全面に設置された床）に入ると、疑問が吹っ飛んだ。床の前には小さな段差の滝、川に足の届くほどの低床、鮎料理など、夏に一度は訪れたい風景が展開されていた。 それは、西城町の熊野神社の地域と瓜二つであった。そして、広島県、中国地方で川床料理の有名地を検索したが、なかった。 そこで伺う。熊野神社横で川床料理を提供することを、地元地域で開設しようとすれば、地権者、河川利用、食品衛生法、数々の許可申請が必要だと思うが、考えられる関門は、そして、考えられる本市の支援策は。なければ新たに創設してでも、地域資源を活用した地域活性化策を考えるべきではないか。		市 長

順位	1 2	質問者	宇江田豊彦	
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨			答弁を 求める者
1. 障害者の雇用 促進について	「障害者の雇用の促進等に関する法律」の法定雇用率が来年4月より引き上げになる。 民間企業では、現行の1.8%から2.0%へ、事業主の範囲も従業員56人以上から50人以上となる。国・地方公共団体は2.1%から2.3%に引き上げられ、取り組みの強化が必要になってくるところである。 そこで、本市における現状と今後の取り組みについて伺う。 本来、課題解決の主体は厚生労働省、県労働局、ハローワークではあるが、「共生社会」をめざす本市においては、独自の取り組みが必要であろうと考える。市長の見解を伺う。 また、作業所への通所について、どのような実態なのか、待機等の状況についても伺う。			市 長

順位	1 2	質問者	宇江田豊彦	
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨			答弁を 求める者
2. 本市県立高校 存続の取り組みについて	これまで県立高等学校再編整備基本計画が提出されたときには、本市としても県教育委員会へ向けて要請するなど存続の取り組みを展開してきた。結果とすれば、「連携校」制度の導入等があったが、本市内の県立高校を存続することができた。 しかし、現在の県立高等学校再編整備基本計画は、2013（平成 25）年度までの計画であり、県教育委員会は、新たに「広島県における今後の高等学校教育の在り方を検討する協議会」を設置し、配置の方向性等を検討することになっている。この協議会は、本年度内に 8 回程度開催され、来年 3 月には一定の整理を行うとしている。 そして、県教育委員会は答申を踏まえて今後の県立高等学校の在り方に係る計画を策定し、2014（平成 26）年度には計画の実現に向けた取り組みがスタートすることになると聞いている。 そこで、今まで数度開催をされている協議会の内容について、いかなる認識をされ、今後、本市としての取り組みをどのようにお考えか伺う。			市 長 教育長

順位	1 2	質問者	宇江田豊彦
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨		答 弁 を 求める者
3. “げんき” と “やすらぎ” の さとやま文化 都市について	就任以来、市長は「げんき」と「やすらぎ」のさとやま文化都市をめざし取り組みをされてきたが、任期最終盤を迎え、どのように評価されているのか伺う。 将来像として「げんき」のイメージは、①市民の意識や意欲の醸成、②市民活動や地域活力の向上、③定住人口や交流人口の拡大、④生活基盤や都市基盤の整備、⑤産業の活性化、⑥地域の担い手の育成とされている。 「やすらぎ」のイメージは、①豊かな自然環境の保全、②住みなれた地域で生活できる環境、③共生の意識を持って支え合う暮らし、④安心して子どもを産み育てられる環境、⑤「しあわせ」を実感できるまちづくり、などで「さとやま文化都市」を創造とされている。 このイメージで、成果、課題について、市長は自らをどのように評価されているのか伺う。		市 長

順位	13	質問者	坂本義明	
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨			答弁を 求める者
1. 市税の収納について	昨今の景気状況から、税の未収はますます増加すると考えられる。決算審査においても未収について指摘しているところである。 そこで、市税の収納状況等について伺う。 (1) 最近、3カ年の未納税額は、それぞれいくらで、どのような特徴があるのか伺う。 (2) 徴収について、本市ではどのような対策をとっているのか、また、今後新たにどのような効果的な徴収方法を考えられているのか伺う。 (3) 市税等の納付相談窓口として、ワンストップサービスができているのか伺う。			市 長

順位	14	質問者	藤山明春	
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨			答弁を 求める者
1. 空き家対策について	(1) 活用策について これまで空き家活用策について、取り組みを伺ってきたところであるが、現在の状況と今後の取り組みについて所見を伺う。 (2) 倒壊の危険性のある空き家の整理について 倒壊の危険のある空き家が、最近特に多く見られるようになった。景観の面からも問題である。最近、他の自治体も取り組んでいるようであるが、本市の今後の対策について考えを伺う。			市 長
2. 太陽光発電について	太陽光発電については、これまで再三伺ったところであるが、東日本大震災以降、再生可能エネルギーとして注目を集めている。本市における、太陽光発電の普及状況と今後の取り組みについて所見を伺う。			市 長